



新機能および変更情報

この章では、今回のリリースの Cisco Unified Communications Manager の JTAPI に関する新機能および変更情報、および以前のリリースでサポートされている機能について説明します。

詳細については、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_programming_reference_guides_list.html の Programming Guides Web サイトを参照してください。

- [Cisco Unified Communications Manager リリース 12.5\(1\)](#) (1 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 11.5\(1\)](#) (2 ページ)
- [以前のリリースでサポートされている機能](#) (2 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 11.0\(1\)](#) (3 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5\(2\)](#) (3 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 10.0\(1\)](#) (3 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 9.0\(1\)](#) (4 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 8.6\(1\)](#) (4 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 8.5\(1\)](#) (4 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 8.0\(1\)](#) (5 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 7.1\(3\)](#) (5 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 7.1\(2\)](#) (5 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 7.0\(1\)](#) (6 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 6.1](#) (8 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 6.0](#) (8 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 5.1](#) (9 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 5.0](#) (9 ページ)

Cisco Unified Communications Manager リリース 12.5(1)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 12.5(1) の新機能と変更された機能について説明します。

- [SIP または TLS 認証済みコールのコール録音](#)

- [CUBE メディア プロキシ サーバを使用するマルチフォーク記録](#)
- Linux および Windows でのインストール手順は「[インストール手順](#)」の項で更新されています。

Cisco Unified Communications Manager リリース 11.5(1)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 11.5(1) の新機能と変更された機能について説明します。

- [ハント ログ ステータス](#)
- [コールのエンドツーエンドセッション ID](#)
- [デバイスにリダイレクト](#)
- [SHA-512 デジタル署名のサポート](#)



(注) Cisco Spark Device が新しいデバイスタイプとしてこのリリースの Cisco Unified Communications Manager に追加されており、ユーザのコントロールリストに表示されることがあります。ただし、Cisco Spark Device はこのリリースの Cisco Unified JTAPI でサポートされるデバイスではありません。

以前のリリースでサポートされている機能

このセクションでは、以前のリリースでサポートされている機能について説明します。次のような内容で構成されています。

- [Cisco Unified Communications Manager リリース 11.0\(1\)](#) (3 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5\(2\)](#) (3 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 10.0\(1\)](#) (3 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 9.0\(1\)](#) (4 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 8.6\(1\)](#) (4 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 8.5\(1\)](#) (4 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 8.0\(1\)](#) (5 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 7.1\(3\)](#) (5 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 7.1\(2\)](#) (5 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 7.0\(1\)](#) (6 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 6.1](#) (8 ページ)

- [Cisco Unified Communications Manager リリース 6.0 \(8 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 5.1 \(9 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 5.0 \(9 ページ\)](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 11.0(1)

ここでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 11.0(1) の新機能と変更された機能について説明します。

- [デバイスのデフォルト CTI IP アドレッシング](#)
- [転送コールの SIP 183 での Ringback](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5(2)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5(2) の新機能と変更された機能について説明します。

- [AES 256 アルゴリズム ID](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 10.0(1)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager Release 10.0(1) の新機能と変更された機能について説明します。

- [CTI RD コール転送](#)
- [CTI ビデオ サポート](#)
- [暗号化の拡張](#)
- [モビリティ機能との相互運用のサポート](#)
- [NuRD \(リモート接続先の番号照合\) のサポート](#)
- [アナウンスの再生](#)
- [永続的接続](#)
- [SSO Cookie](#)
- [録音](#)
- [リモート接続先のサポート確認](#)
- [ビデオ機能とマルチメディア情報](#)
- [保留中ビデオのサポート](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 9.0(1)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 9.0(1) の新機能と変更された機能について説明します。

- [Cius の永続性](#)
- [JTAPI 用の CTI リモート デバイス](#)
- [E911 テレワーカー](#)
- [ハント リスト 接続番号](#)
- [ネイティブ キューイング](#)
- [URI ダイアル](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 8.6(1)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 8.6(1) の新機能と変更された機能について説明します。

- [ロックアウトする \(Account Lockout\)](#)
- [EnergyWise Deep Sleep \(ディープスリープ\) モード](#)
- [FIPS Compliance](#)
- [パスワードの有効期限切れ](#)
- [64 ビットのオペレーティング システム用の新しい JTAPI x64 クライアント](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 8.5(1)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 8.5(1) の新機能と変更された機能について説明します。

- [エージェントのグリーティング](#)
- [Built-in-Bridge ステータス公開用 API](#)
- [zip トーンの再生](#)
- [シングル サインオン](#)
- [VMware のサポート](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 8.0(1)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 8.0(1) の新機能と変更された機能について説明します。

- [Call Control Discovery](#) (呼制御ディスカバリ)
- [コール ピックアップ](#)
- [\[不在 \(CallFwdAll\) \] キー通知](#)
- [エンド ツー エンド コールのトレース](#)
- [クラスタ間のエクステンション モビリティ \(Extension Mobility Cross Cluster\)](#)
- [外部コール制御](#)
- [ハント リスト](#)
- [iSAC コーデック](#)
- [セキュリティ保護されたモニタリングおよび録音](#)
- [Cisco Unified IP Phone 6901 のサポート](#)
- [100 を超える電話番号のサポート](#)
- [VMware のサポート](#)
- [Verification Involving PSTN Reachability \(VIPR\)](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 7.1(3)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 7.1(3) の新機能と変更された機能について説明します。

- [端末とアドレス機能の設定。](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 7.1(2)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 7.1(2) の新機能と変更された機能について説明します。

- [Component Updater](#)
- [回線をまたいで直接転送](#)
- [任意の通話者のドロップ](#)

- IPv6 のサポート
- 回線をまたいで参加 (Join Across Lines) または回線をまたいで会議を接続 (Connected Conference Across Lines)
- 論理パーティション設定
- メッセージ受信インジケータの改良
- パーク モニタリングと Assisted DPark のサポート
- スワップまたはキャンセルと転送または会議の動作

Cisco Unified Communications Manager リリース 7.0(1)

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager のリリース 6.1 からリリース 7.0(1) および Cisco Unified JTAPI の拡張機能の新機能と変更された機能について説明します。このセクションの内容は次のとおりです。

- コール ピックアップ
- 発信側の正規化
- クリック ツー会議
- Do Not Disturb-Reject
- エクステンション モビリティのユーザ名ログイン
- Java ソケット接続のタイムアウト
- 会議拡張機能 (SCCP および SIP) による複数ライン同時通話機能
- ロケール インフラストラクチャの変更
- コーリング サーチ スペースおよび機能プライオリティを使用した `selectRoute()`



(注) Cisco Unified Communications Manager リリース 7.0(1) では、次の IPv6 関連のメソッドをサポートしていません。

canSupportIPv6()

setProviderOpenRetryAttempts (int retryAttempts)

getProviderOpenRetryAttempts()

getIPAddressingMode() (*CiscoMediaTerminal* と *CiscoRouteTerminal* インターフェイスで使用できる)

register(java.net.InetAddress address, int port, CiscoMediaCapability [] capabilities, int[] algorithmIDs, java.net.InetAddress address_v6, int activeAddressingMode)

register(CiscoMediaCapability [] capabilities, int[] int registration Type, int[] algorithmIDs, int activeAddressingMode)

getTerminals() (新しいインターフェイス *CiscoProviderTermCapabilityChangedEv*)

getAddressingModeForMedia()

getCallingPartyIpAddr_v6() (*CiscoCallCtlConnOfferedEv* と *CiscoRouteEvent* インターフェイスで使用できる)

CTIERR_IPADDRMODEMISMATCH

CTIERR_DYNREG_IPADDRMODE_MISMATCH

hasIPv6CapabilityChanged()

CiscoTerminal.IP_ADDRESSING_MODE_IPv4

CiscoTerminal.IP_ADDRESSING_MODE_IPv6

CiscoTerminal.IP_ADDRESSING_MODE_IPv4_v6

CiscoTerminal.IP_ADDRESSING_MODE_Unknown

CiscoTermRegistrationFailedEv.IP_ADDRESSING_MODE_MISMATCH



(注) 回線をまたいで参加 (Join Across Lines)、Do Not Disturb-Reject、および発信側の正規化機能を使用する場合、各 Cisco JTAPI をこれらの機能をサポートするバージョンにアップグレードする必要があります。また、リリース 5.1 からアップグレードして「回線をまたいで参加」機能を使用する場合は、すべてのアプリケーションが新しい Unified CM バージョンと互換性のあるバージョンにアップグレードされるまで、会議のチェーニング機能を有効化または使用しないでください。また、アプリケーションが会議の連結機能による影響を受けないことを確認してください。

Cisco Unified Communications Manager リリース 6.1

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 6.0 からリリース 6.1 および Cisco Unified JTAPI の拡張機能の新機能と変更された機能について説明します。このセクションの内容は次のとおりです。

- 証明書ダウンロードの API 機能拡張
- エクステンション モビリティのインターコム サポート
- 複数ライン同時通話機能 (Join Across Lines)

Cisco Unified Communications Manager リリース 6.0

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager リリース 6.0 と Cisco Unified JTAPI の拡張機能の新機能と変更された機能について説明します。このセクションの内容は次のとおりです。

- アラビア語とヘブライ語の言語サポート
- 発信側の IP アドレス
- Cisco RTP イベントの CiscoRTPHandle インターフェイス
- Cisco Unified IP 7931G フォンの対話
- 会議チェーニング
- ダイレクト コール パーク
- サイレント
- 帯域幅不足および未登録 DN 発生時の転送
- 保留復帰
- インターコム
- Multilevel Precedence and Preemption のサポート
- コントローラ以外による会議への通話者の追加
- サイレント モニタリング
- セキュア会議
- トランスレーション パターンのサポート
- バージョン形式の変更
- ボイス メールボックスのサポート

Cisco Unified Communications Manager リリース 5.1

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager のリリース 5.0 からリリース 5.1 および Cisco Unified JTAPI の拡張機能の新機能と変更された機能について説明します。このセクションの内容は次のとおりです。

- コール転送のオーバーライド
- 回線をまたいで参加 (SCCP のみ)
- CiscoTermRegistrationFailedEv の新しいエラー コード
- アスタリスク (*) 50 の更新

Cisco Unified Communications Manager リリース 5.0

このセクションでは、Cisco Unified Communications Manager のリリース 4.x からリリース 5.0 および Cisco Unified JTAPI の拡張機能の新機能と変更された機能について説明します。このセクションの内容は次のとおりです。

- Linux の自動アップデート
- コールの選択状態
- コマンドライン呼び出し
- ヘアピン サポート
- 半二重メディアのサポート
- JRE 1.2 および JRE 1.3 のサポートの削除
- JTAPI バージョン情報
- ネットワーク アラート
- パーティションのサポート
- QoS のサポート
- Secure Real-Time Protocol キー情報
- サイレント インストール
- SIP 3XX リダイレクション
- SIP REFER または REPLACE
- SIP フォンのサポート
- スーパープロバイダーと変更通知

- 端末とアドレスの制限
- トランスポート層セキュリティ (TLS)
- Unicode のサポート